

社会資本総合整備計画総合交付金
安全安心な公園づくり(防災・安全) 事後評価シート

平成28年3月

愛知県 知立市

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成 27 年 11 月 1 日

計画の名称	安全安心な公園づくり（防災・安全）											
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）					交付対象	知立市					
計画の目標	・人びとの憩いや交流の場となる公園において、公園施設長寿命化計画に基づき、日常的な点検や適切に維持管理されている遊戯施設の改築を実施し、都市公園の適正な管理による公園利用者の安全・安心の確保を図り、誰もが公園を利用できるよう魅力ある公園の創出に努める。また、公園施設に係るトータルコストの低減に努める。											
計画の成果目標（定量的指標）	・障がい者の方を含めて誰もが快適に利用できる施設の提供を行うために、ユニバーサルデザイン化率の向上に寄与した整備を行う。 ・都市基幹公園及び住区基幹公園において、地域住民の健康寿命の促進を図り、誰もが安全かつ安心して公園施設の利用ができるように、老朽化等の施設の改築及び更新を行なう。 ・平成27年度までに、19公園において公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築を行い、改築の更新を行った公園施設割合を25%から38%にする。											
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考
									当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	
①	都市公園のユニバーサルデザイン化率（％）＝都市公園のうち、ユニバーサルデザインに配慮した施設を設置している公園÷市内の都市公園								17.0％	20.0％	24.0％	
②	都市公園老朽化等施設更新率（％）＝更新を行なった都市公園施設÷更新の必要がある都市公園施設								0.0％	25.0％	38.0％	
全体事業費	合計 (A＋B＋C)	160百万円	A	160百万円 (うち提案事業0百万円)	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A＋B＋C)		0.0％	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事後評価の検討にあたり、事業担当課のみならず、庁内の横断的な組織によって、総合的かつ専門的な見地から検討を行うため、庁内の関係部署による「社会資本総合整備計画事業評価庁内検討会議」を組織した（2回開催：平成27年9月、10月）。 また、事後評価等が適切に遂行されたことを中立・公平な立場で確認していただくとともに、意見を求めることを目的として、有識者や地元関係者により「社会資本総合整備計画事業評価委員会」を組織した（2回開催：平成27年8月、11月）。	平成27年度に事後評価を実施、平成28年度に確定値によってフォローアップ調査を実施 公表の方法
	知立市都市整備部まちづくり課の窓口で閲覧、知立市のホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-2	公園	一般	知立市	直接	知立市			都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	園路のバリアフリー化、遊具等の改築 n=10公園	知立市						100	
1-A-3	公園	一般	知立市	直接	知立市			公園施設長寿命化対策支援事業（知立市）	草刈公園等19公園における遊戯施設の改築	知立市						60	
											合計					160	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業により更新が必要な遊具の改築や段差のない歩きやすい園路などを整備したことで、誰もが利用できる公園を創出できたと考えられる。 ・公園施設長寿命化対策支援事業により、更新が必要な遊具の改築を計画的に実施したことで、公園利用者の安全・安心の確保を図ることができたと考えられる。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（都市公園のユニバーサルデザイン化率）	最終目標値	24%	目標値と実績値に差が出た要因	—
		最終実績値	24%		
	指標②（都市公園老朽化等施設更新率）	最終目標値	38%	目標値と実績値に差が出た要因	計画策定後、毎年度の遊具点検結果等を踏まえ、前倒して更新すべき遊具の増加により目標の92箇所に対して97箇所の老朽化した遊具の更新を行ったため、目標値を上回る更新率となった。
		最終実績値	40%		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		—			

3. 特記事項（今後の方針等）

【効果を持続させるテーマ】	公園施設長寿命化計画に基づく、日常的な維持管理と計画的な施設更新による安全・安心の確保
【効果を持続させるための基本的な考え方】	・バリアフリー化した園路やトイレなどの公園施設について、維持管理を推進するとともに、計画的な更新を推進することにより、誰もが安全・安心に利用できる公園を創出する。 - また、防災訓練において公園を活用するなど、地域交流での活用の促進を図る。 ・新規に整備する際には防災機能を付加し、災害時の安全・安心の確保を図る。
【想定される事業案】	・公園のバリアフリー化の促進 ・防災訓練などによる公園の活用促進 ・地域活動への支援 ・防災機能の付加

(参考様式3) (参考図面) 市街地整備

